

IV 高齢期の住まい方

～高齢期の住まい方について～(問 17～19)

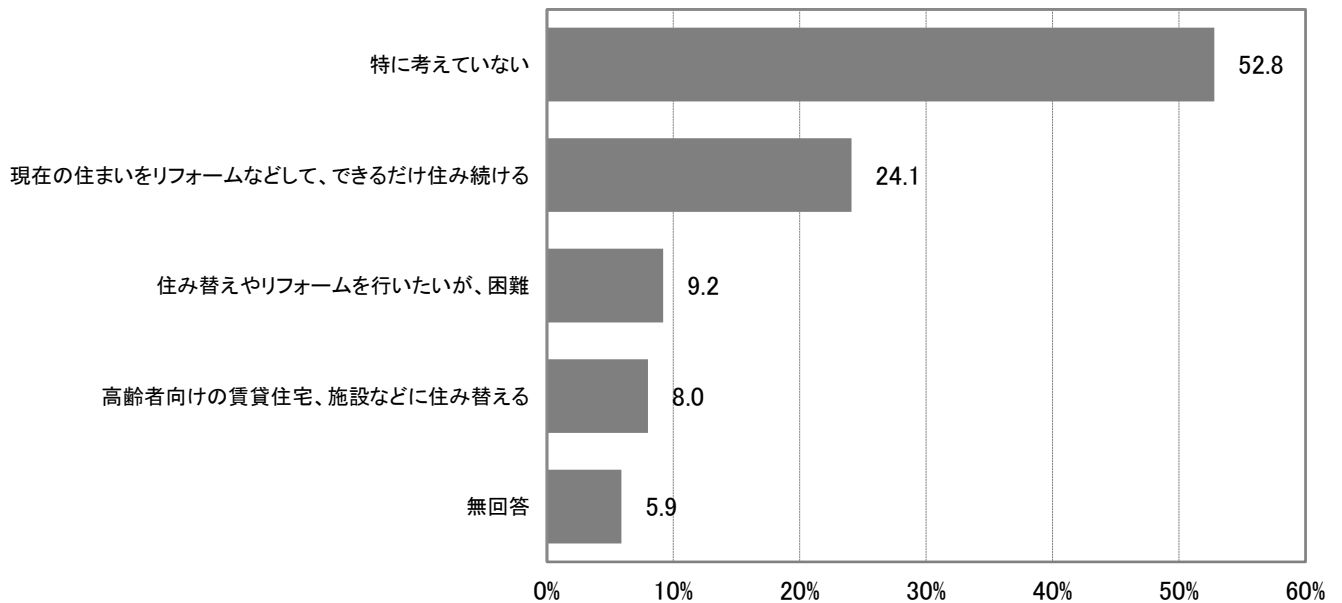
高齢期の住み替えやリフォームは、「特に考えていない」が約半数となっている。
住み替える場合については、「持家(一戸建住宅)」が約3割、不安な点について、「資金の確保、計画ができない」が3割以上となっていることから、リフォームに対する資金面での不安が高い傾向がみられた。

問17 高齢期を安心して過ごすため、あるいは介護・住居費負担の軽減などのため、将来的に、住み替えやリフォームを考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

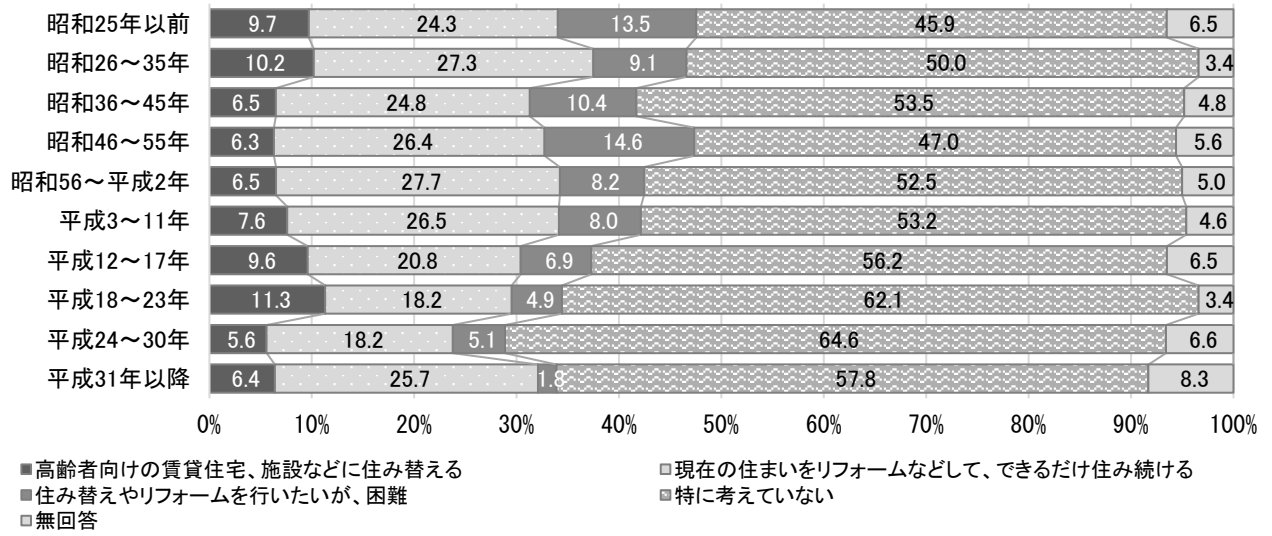
高齢期の住み替えやリフォームは、「特に考えていない」が52.8%と最も高く、次いで、「現在の住まいをリフォームなどをして、できるだけ住み続ける」が24.1%となっている。

昭和 55 年以前の住宅になると、住まい手も高齢の方が多く、住み替えやリフォームの意向が高くなるものの、年収 300 万円未満の世帯では、「住み替えやリフォームを行いたいが、困難」が高くなり、リフォーム等の資金確保の問題があるとみられる。

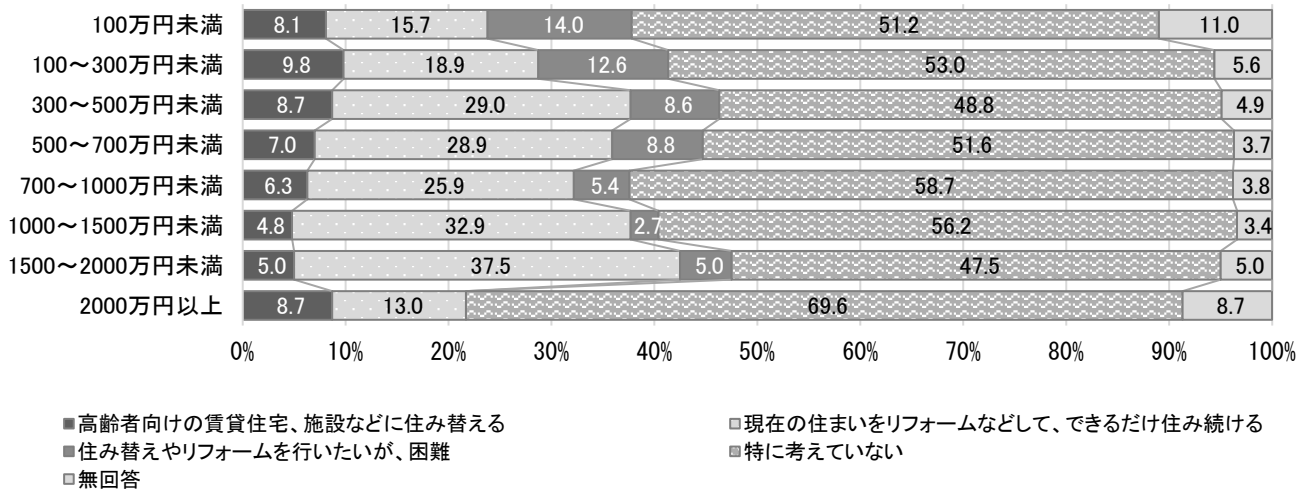
問17 高齢期、介護・住居費負担のため、将来的に、住み替えやリフォームを考えているか
N = 2989



住宅築年数別



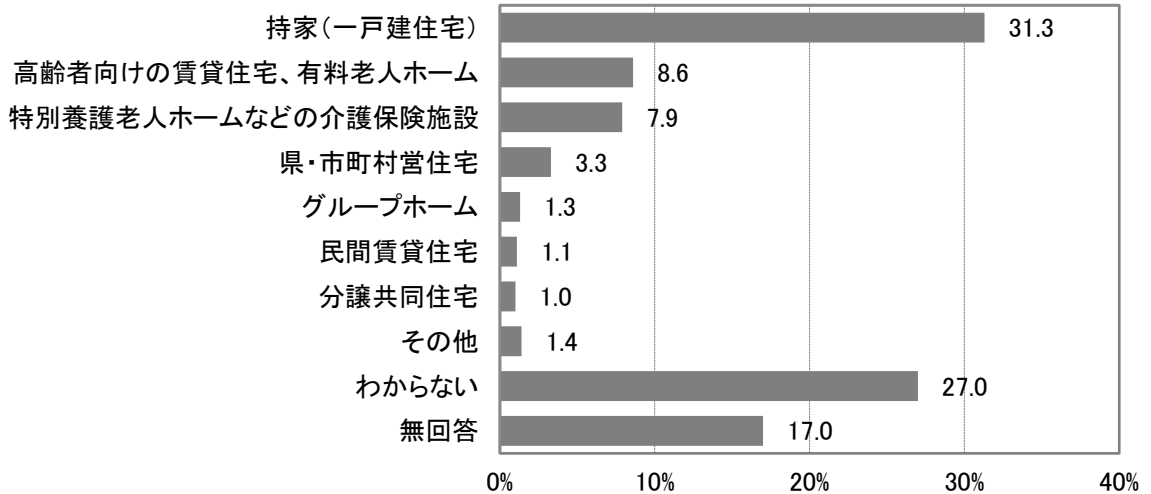
世帯年収別



問18 住み替えるとしたらどのような住宅に住みたいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

高齢期に住み替える場合の住居希望は、「持家(一戸建住宅)」が31.3%と最も高く、次いで「高齢者向けの賃貸住宅、有料老人ホーム」が8.6%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が7.9%となっている。

問18 住み替えるとしたらどのような住宅に住みたいか(1つ○) N = 2989



問19 高齢期のための住み替えを行う場合、不安に思う点は何ですか。あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

高齢期に住み替える場合の不安は、「資金の確保、計画ができない」が35.8%と最も高く、次いで、「どのような住み替え先があるのかわからない」が21.9%、「今の住宅(持家)をどうすれば良いのかわからない」が18.5%となっている。

問19 高齢期のための住み替えを行う場合、不安に思う点(2つまで○) (N = 2989)

